

2024年6月19日

住友生命保険相互会社

日本トムソン株式会社向け スミセイ・サステナビリティ・リンク・ローン実行 ～スミセイ・サステナブルファイナンス・フレームワークに基づく住友生命初の案件～

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、日本トムソン株式会社（代表取締役社長 宮地 茂樹、以下「同社」）向けに、本年3月に制定した「スミセイ・サステナブルファイナンス・フレームワーク※（以下「本フレームワーク」）」に基づく初の案件となる「スミセイ・サステナビリティ・リンク・ローン（以下「本件」）」を実行しました。

※ 詳細は、下記 URL を参照ください。

<https://www.sumitomolife.co.jp/about/newsrelease/pdf/2023/240329.pdf>

本件は、借入人の GHG（温室効果ガス）削減目標と統合的なサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）をあらかじめ設定し、その達成状況に応じて、金利が変動する仕組みとなっています。そのため、借入人の GHG 削減取組みに対して、インセンティブが設けられた融資となっています。住友生命は、本件を通じて、運用収益の確保に加え、同社の脱炭素化の取組みを後押ししていきます。

【案件概要】

借入人	日本トムソン株式会社
金額	8億円
融資期間	5年
SPTs①	指標：同社グループの GHG 排出量（Scope1+2） 内容：2030 年度までに 2022 年度対比 42%以上の削減
SPTs②	指標：同上（Scope3 [カテゴリ 1：購入した製品・サービス]） 内容：2030 年度までに 2022 年度対比 25%以上の削減

住友生命は、「住友生命グループ Vision2030」において、カーボンニュートラル実現に向けた絶え間ない取組みにより地球環境の改善を図ることを目指し、資産運用を通じて、環境・社会へのポジティブなインパクトの創出に取り組んでいます。本フレームワークも今後更に活用し、中長期の安定的な運用収益確保に加え、脱炭素および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

【本件を通じて貢献すると想定される主な SDGs 項目】



以 上